

東京都立世田谷泉高等学校
教諭 長井 正徳

1. 公開授業概要

日時 平成 15 年 10 月 31 日(金)
7,8 時限(15:15~16:55)
場所 都立世田谷泉高等学校 生物室
授業者 都立世田谷泉高等学校教諭
榎 茂喜, 長井正徳, 山田智美
(チーム・ティーチング)
クラス 2 年次 II 部生
「生物 I A」選択者 (26 名)

2. 本時の指導計画

(1) テーマ設定の理由

最近の傾向として、人間関係の問題を抱える生徒が多くなってきている。近年増加している不登校や学校不適応の問題も人間関係をうまく築くことができなことが原因となつてきていることが多い。また、生徒からの相談においても、人間関係や性に関する事例が多くなってきている。さらに、インターネットやメール機能付き携帯電話の普及など、多くのメディアから情報を得ることが可能になった現在では、情報の選択・活用や正しい知識の習得が必要不可欠となっている。これらの問題点を解決するためにも、多くの学習活動においてライフスキルトレーニングなどを活用し、意志決定能力やコミュニケーション能力を高め、自己の在り方・生き方について、生徒一人一人が考えることが大切である。そこで、意志決定や問題解決の能力の育成を重点においた学習を設定した。また、この学習を通してピア・カウンセリングの態度を育成するという面も含めた教材とした。

(2) 学習形態とねらい

- ・ブレインストーミング
- ・グループワーク
- ・レクチャー
- ・ケーススタディ
- ・個別活動
- ・シェアリング

意志決定に至るまで脳のはたらきなどの基礎・基本の知識を身に付けると共に、ライフスキルトレーニングを活用することで、性に関する諸問題に対して自ら学び解決していく能力を育むことをねらいとした。

(3) 具体的目標

①グループ学習を通して、性問題について自分自身で考える能力を育成する。

②意志決定の学習を通して、自ら判断し、行動のできるような人格の形成をめざす。

③学習の過程を通じてライフスキルの育成を行う。

(4) 学習指導上の留意点

①グループワークにおいては、グループ内で出てきた意見や、収集した情報を処理する場合に、特定の人物の意見や固定観念に捕らわれずに、自由な発想が出てくるように心掛ける。

②ケーススタディにおいては、場面の設定や配役について適切な指導を行う必要がある。また、人権については特に配慮が必要である。

(5) 学習の評価と反省

①意志決定の流れを理解する事ができたか。

②自分の意見をまとめ、発言・発表する事ができたか。

③他の人の意見に対して的確に自分の意見を出す事ができたか。

④意見や必要な情報を処理してまとめることができたか。

3. 本時の指導展開

| | 主な学習活動 | 生徒の活動 | 指導上の留意点 |
|-----------|--|--|---|
| 導入 (二十分) | <p>グループワーク</p> <p>オリエンテーション</p> <p>ブレインストーミング</p> <p>グループワーク</p> | <p>生徒は3～4人ずつ自由にグループを作る</p> <p>前週からの目的を振り返る</p> <p>学習の目的を振り返る</p> <p>明日のお昼ご飯の選択肢をあげる</p> <p>その中の2つについて、利点と欠点をグループ毎に話し合う</p> | <p>生徒の人数に応じてグループの数を調節する</p> <p>ワークシートの配布</p> <p>T1が説明</p> <p>自由な発想を尊重し、どんどん記入させていく</p> <p>発表されたワークシートに記入を選び、ワークシートにより作業の手助けを行う</p> <p>T2が説明</p> <p>具体例を示しながら進める</p> <p>生徒にシナリオを読ませても良い</p> <p>個人の意見を書かせた後、グループで話し合わせる</p> <p>机間指導により、討論が進むように助言をおこなう</p> <p>T1が説明</p> <p>T2はワークシートの記入のチェックをする</p> |
| 展開 (二十五分) | <p>レクチャー</p> <p>ケーススタディ</p> <p>グループワーク</p> <p>レクチャー</p> | <p>意思決定における6つのステップを理解する</p> <p>教員(3名)が演じる会話を聞いて疑問点や改良点をあげる</p> <p>脳のはたらき、仕組みについて理解する</p> | <p>T3が説明</p> <p>T1 T2は机間指導により、討論が進むように助言を行う</p> <p>友人と意見を交換しながら記入させる</p> <p>T1は提示装置で全体に発表</p> <p>ワークシートの配布</p> <p>T1が説明、論理的な反論ができるように助言をおこなう</p> <p>1つの欄が全員書き終わるのを待ってから回収し、別の班のところに配布する</p> <p>T2 T3は記入の援助を行う</p> <p>分かち合うことにより、問題点を理解する</p> <p>達成度に応じて4段階で自己評価させる</p> |
| ----- | | | |
| 展開 (三十五分) | <p>グループワーク</p> <p>個別活動</p> | <p>意思決定のステップを順に考え記入していく</p> <p>グループ毎にまとめをし、紙に書いて提出</p> <p>反対意見とその理由を考える</p> <p>各自、気付いた点をプリントに記入する</p> | <p>T3が説明</p> <p>T1 T2は机間指導により、討論が進むように助言を行う</p> <p>友人と意見を交換しながら記入させる</p> <p>T1は提示装置で全体に発表</p> <p>ワークシートの配布</p> <p>T1が説明、論理的な反論ができるように助言をおこなう</p> <p>1つの欄が全員書き終わるのを待ってから回収し、別の班のところに配布する</p> <p>T2 T3は記入の援助を行う</p> <p>分かち合うことにより、問題点を理解する</p> <p>達成度に応じて4段階で自己評価させる</p> |
| まとめ (十分) | <p>シェアリング</p> <p>まとめ</p> | <p>他の人の意見を見て、または自分を感じた大切な点を発表する</p> <p>観点別に自己評価を行う</p> <p>授業の感想をまとめる</p> | <p>T3が説明</p> <p>T1 T2は机間指導により、討論が進むように助言を行う</p> <p>友人と意見を交換しながら記入させる</p> <p>T1は提示装置で全体に発表</p> <p>ワークシートの配布</p> <p>T1が説明、論理的な反論ができるように助言をおこなう</p> <p>1つの欄が全員書き終わるのを待ってから回収し、別の班のところに配布する</p> <p>T2 T3は記入の援助を行う</p> <p>分かち合うことにより、問題点を理解する</p> <p>達成度に応じて4段階で自己評価させる</p> |

今回の授業では『意志決定のステップ』の理解を1つのポイントにした。授業において提示した意志決定の定義と流れは以下の通りである。

☆意志決定の定義

ある問題を判断したり解決したりするときに、期待された効果を最大限に実現するためにいくつかの選択肢の中から最も良いと考えられるものを選ぶことを言う。

☆意志決定の流れ

- 《ステップ1》 「問題を明らかにする」
- 《ステップ2》 「関連情報を集めて参考にする」
- 《ステップ3》 「どんな選択肢があるのか考える」
- 《ステップ4》 「選択肢の検討をする」
- 《ステップ5》 「最もよいものを選び、実行する」
- 《ステップ6》 「よい選択だったか振り返る」

また、ワークシートの中で、まとめとして『意志決定をする上で何が大切なことだと思われましたか？』という問いを設け、一人一人の意志決定に対する意識を確認したところ、それぞれ改めて確認したことや新たに発見したことを含めた回答が見られた。主な回答を下記に示す。

【生徒の回答（一部）】

- ・その決定事項を行動にうつした後、どうなるかをよく考える。
- ・自分が得をするか損をするか。
- ・今おかれている状況の把握。
- ・自分の意志と責任と思いやり。
- ・無理せず自分でよく考えて行動する
- ・自分の意志、気持ちを引きちんと伝える
- ・自己を確かに（自己中心ではなく相手、第三者の立場や気持ち、モラル、マナーも視野に入れ、総合的にBestなものをも）
- ・今の自分の気持ちとこれからどういう風になりたいのかを考える（第三者の意見を聞くことも大切）
- ・よく自分の行動を考えてちゃんと行動する事が大切だと思いました。
- ・相手の事や周りなどを気にするよりも、自分のしたいようにする。
- ・他人を尊重しながら、自分の気持ちを大切にしたい。絶対に流されては行けないものを持つようにする。
- ・自分だけでなく相手のことも考える
- ・相手を想うことも大切だけど、それで自分が苦しむなら自分にとって不利益なことはしなくてもいいと思う。
- ・わがまま過ぎずにわがままを通す。
- ・相手の気持ちも大切だと思わなければならない。
- ・安易に考えず慎重に考えて実際に交際すること。

4. 生徒の様子

今回は、ワークシートを利用しながらグループワークを中心に取り組んだ。グループワークにおいて仲間と一緒に考え、意見を発表し合う形態は、各自が意欲的に取り組む一つの手法であり、日頃からコミュニケーションをとっている仲間との意見交換は、自由な発想を受け入れる雰囲気を作り出すだけでなく、テーマについてより深く考える環境となったように感じる。

意志決定というテーマが生徒にとつて興味・関心が高かったこともあり、全体的に意欲的な様子が見受けられた。

5. 考察、及び今後の課題

全体を通して前向きに取り組む姿勢が見受けられたが、その要因として考えられる事由を以下に挙げる。

【生徒が意欲的に取り組んだ要因】

- ・ 通常と異なる雰囲気や形式が新鮮。
- ・ 意志決定というテーマが身近な問題としてイメージしやすかった。
- ・ 他人の意見や回答に興味があった。
- ・ グループワークを通して自分自身の意見や気持ちを確認しながら進めることができ、ワークシートへの回答が書き込みやすかった。

また、このような活動を通して、意志決定の流れを理解することを前提としながらも、次のような人格の形成を期待する。

- ・ 自分の意志を持つ。
- ・ 自分の意志を主張する。
- ・ 他人の意見、気持ちを受け入れる。
- ・ 他者の意見や周りの情報を的確に処理し、自己判断する。
- ・ 現状を多面的に捉えたと共に、広い視野で考え、先を見通す。
- ・ 自分の意志決定・行動選択を客観的に評価し次に生かす。

前項4の回答から、生徒が「意志決定」を考える際に、人間関係を強く意識していることがうかがえる。確かにケーススタディやワークシートでは他者とのやり取りを想定した学習を中心に取り組んだが、他者とのコミュニケーションに苦手意識を抱いている表れであるようにも感じる。

現状を踏まえて、今回の学習を振り返ると、次のような目的がそれぞれの活動内容にあてはまると考えられる。

◆【ブレインストーミング】

自由な発想を促進

◆【グループワーク】

意見交換で他者との比較、自己の発見

◆【レクチャー】

基礎・基本の知識の伝達

◆【ケーススタディ】

イメージの具体化・鮮明化

◆【個別活動】

自己の確認

◆【シェアリング】

振り返り、再確認

しかしながら、生徒一人一人が抱える課題は異なり、自分に著しく自信が持てなかつたり、対人関係に極端な苦手意識があつたりする生徒の存在を踏まえた上で、学習活動を行うべきである。

今回、意志決定をテーマに取り組んだ中で、生徒同士のコミュニケーションを最大限利用するグループワークが、一人一人の主体性を引き出すことになつたことは大きな収穫だった。グループワークによって生まれる連帯感が生徒の意欲を高めたと言つても過言ではない。

具体的な手法などはこれからも継続して探っていくこととして、性に関わる教育を行うにあたっては人格の形成を最も重要かつ優先的に考慮するべきであると考える。また、学習活動をより効果的にするために、生徒の興味・関心・好奇心を引き出すことを前提とし、生徒が主体的に取り組む学習内容・形態をまずは教師自身が意志決定・行動選択することから始めたいと思う。